



GPSチャート・プロッター CP300i 取扱説明書



当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。
なお、この「取扱説明書」は、日本仕様で動作する機能のみを抜粋して記載しています。この「取扱説明書」に記載されていない機能や操作については動作保証はできませんので、十分ご注意ください。

目次

安全上のご注意(必ずお読みください)	3
お使いになる前に(準備)	4
設置	4
接続	5
各部の名称と働き	8
基本操作	10
基本操作	10
DSC受信	11
軌跡(航跡)	12
軌跡の消去(海図画面上から一時的に消す)	13
軌跡の削除(データを消す)	14
MENU操作	15
チャート	16
ナビゲーション	17
ハイウェイ	17
検索サービス	17
GPSステータス	18
天空	18
NMEAデータ	18
ポイント	19
ソフトウェアボタン	20
マークの使いかた	22
マークの登録(マークを付ける)	22
マークの削除(マークを消す)	23
ルート(ROUTE)の使いかた	24
ルートの作成	24
新しくルートを作成するには...	25
ルートの選択	26
ルートの削除	27
現在表示されているルートを削除する	27
『ルート一覧表』から削除する	28
ナビゲーションのしかた	29
カーソルの位置に向かってナビゲーションを行う	29
ルート(ROUTE)に向かってナビゲーションを行う	30
マーク(印)に向かってナビゲーションを行う	31
画面のカスタマイズ	32
ズームタイプ	32
アイコンサイズ	33
場所名の表示サイズ	33
パートビュー	34
航路標識の点滅	35
安全ステータスバーの表示	36
衛星写真	38
チャート言語	39
設定メニュー(工場出荷時データ)	40
定格	43

安全上のご注意 (必ずお読みください)

本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合、あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上、賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の種類と意味



本機を安全にお使いになるため、行ってはならない禁止事項です。
たとえば、は「分解禁止」を示しています。



本機を安全にお使いになるため、必ず守っていただきたい注意事項です。
たとえば、は「電源ケーブルを外す」を示しています。

警告



分解や改造をしない。
怪我や感電、故障の原因になります。



“煙が出ている”、“変な臭いがする”などの異常状態のまま使用すると、火災や故障の原因になります。
すぐに電源を切り、本機を電源から外してください。煙や変な臭いなどが出なくなったことをご確認のうえ、お買い上げいただきました販売店に修理をご依頼ください。



指定された電源電圧、電流容量以外では使用しない。
火災や感電の原因になります。



電源ケーブルは、直流電源に直接接続する。
電源ケーブルの延長や継ぎ足しは、火災や故障の原因になります。

注意



電源ケーブルの上に重いものを載せたり、電源ケーブルを無理に曲げたり引っ張ったりしない。
電源ケーブルが傷つき、火災や故障の原因になります。



本機を傾いた所や不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてケガの原因になることがあります。無線機の設置には必ず付属のブラケットを使用して、操船に支障の無い場所に取り付けてください。



強い衝撃を加えない。
故障の原因になります。



長期間ご使用にならない場合には、安全のため、本機から電源を外してください。



直射日光のあたる場所や熱器具の近くに放置しない。
変形や変色等の原因になります。

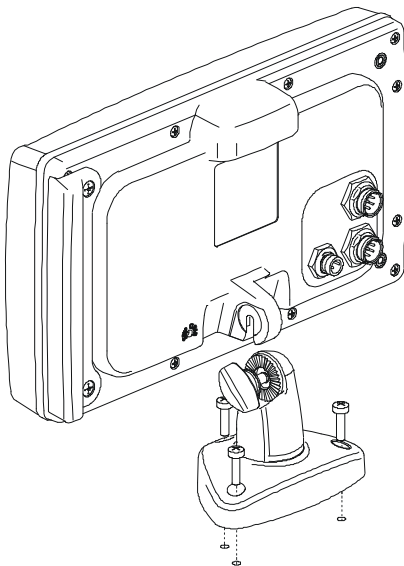


シンナーやベンジンでケースを拭かない。
変形や変色等の原因になります。
ケースが汚れたときは、中性洗剤を湿した布で軽く拭いて汚れを落とし、乾いた布で拭き取ってください。

お使いになる前に (準備)

設置

付属のブラケットを使用して、操船に支障の無い場所に取り付けてください。なお、キャビンの奥まった場所や棚の中など、取付場所によってはGPS信号を捕捉(受信)し難い場合がありますので十分ご注意ください。



⚠ ご注意 ⚠

- 取付位置は、安全と操作性に配慮してください。
- 直射日光の当たる場所や熱器具の付近に設置しないでください。
- 放熱の妨げにならないよう、周囲に十分スペースをとってください。
- 振動等で緩まないよう、ビスやブラケットツマミはしっかり締め付けてください。
- 故障や事故の原因になりますので、付属のビス/ブラケットツマミ以外は絶対に使用しないでください。

付属品

ブラケット	1
パネルカバー	1
C-MAPカード	1
接続ケーブル	2
ヒューズホルダ (2Aヒューズ付)	1
取扱説明書	1
保証書	1

お使いになる前に (準備)

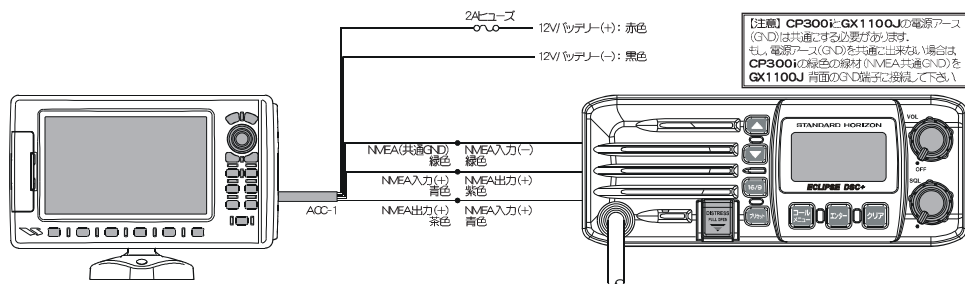
接続

下図を参考に、電源と無線機を接続します。

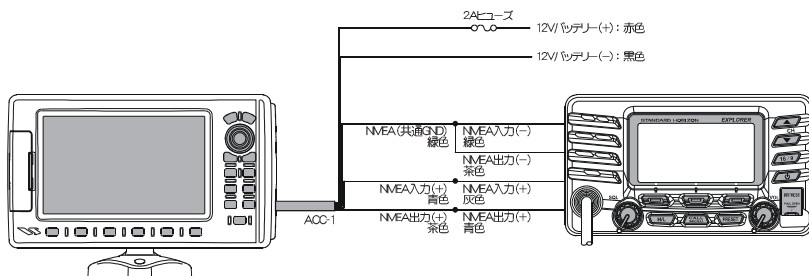
⚠ ご注意 ⚠

- 本機が使用できる電源は、10～35Vの直流電源です。
接続する無線機の電源との兼ね合いから、12Vのバッテリーを使用することを推奨します。
- 無線機/電源との接続は、ACC-1端子（背面下側の8ピンコネクタ）を使用してください。通常、ACC-2端子（背面上側の8ピンコネクタ）は使用しませんが、他のNMEAデータが受信可能な機器を接続する場合には、ACC-2端子を使用して接続してください。
- 各ケーブルの配線は、操船に支障のないよう安全と操作性に配慮してください。また、使用しない線材はショートしないよう、絶縁テープ等で保護してください。
- 本機とバッテリーの間には、必ず付属のヒューズ・ホルダー（2Aヒューズ入り）を挿入してください。

GX1100Jとの接続方法



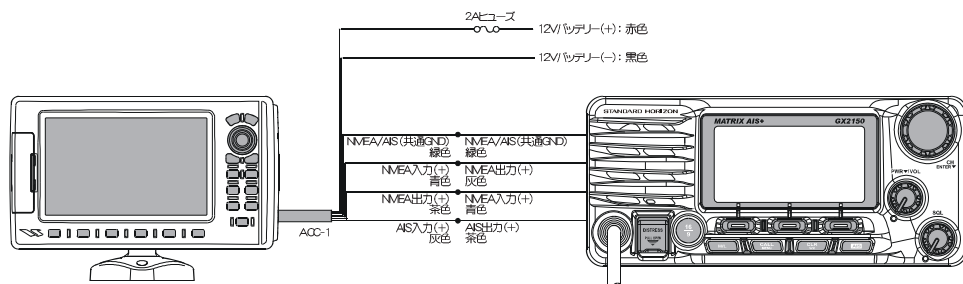
GX1600Jとの接続方法



お使いになる前に (準備)

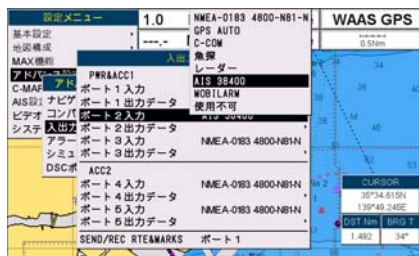
接続

GX2150Jとの接続方法



接続が終了しましたら、下記の操作を参考に、AIS入力ポートの設定を行います。

1. 【MENU】ボタンを押して、[メインメニュー]を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作してカーソルを[設定メニュー]に移動し、【ENT】ボタンを押します。
3. シャトルポイントノブを操作してカーソルを[アドバンス設定]に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して[アドバンス設定]の詳細画面を呼び出します。
4. シャトルポイントノブを操作してカーソルを[入出力接続]に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して[入出力接続]の詳細画面を呼び出します。
5. シャトルポイントノブを操作してカーソルを[ポート 2 入力]に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して[ポート 2 入力]の選択画面を呼び出します。
6. シャトルポイントノブを操作して[AIS 38400]を選択します。
6. 【ENT】ボタンを押して設定を確認し、【CLR】ボタンを3回押して、[メインメニュー]画面を閉じます。

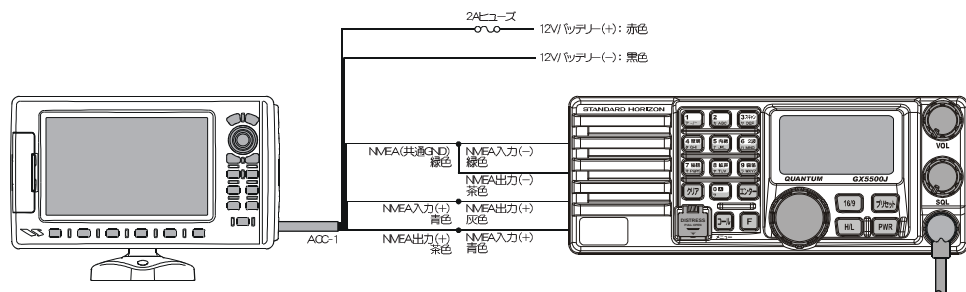


【注意】: [ポート 2 入力]に[AIS 38400]以外の項目は設定しないでください。また、他のポートの入出力設定は決して変更しないでください。正常に動作しなくなります。

お使いになる前に (準備)

接続

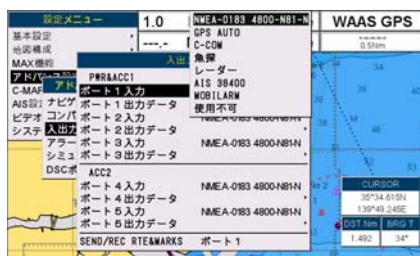
GX5500Jとの接続方法



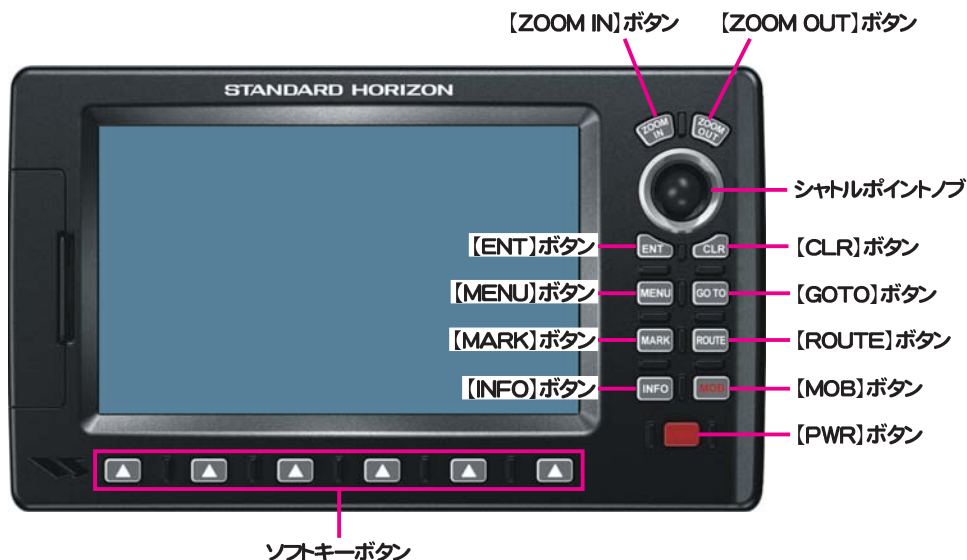
背面のACC1, ACC2コネクタの配線について

ACC 1 コネクタ		ACC 2 コネクタ	
線材色	機能	線材色	機能
赤	電源入力(+)	赤	無接続
黒	電源入力(-)	黒	無接続
緑	GND	緑	GND
青	ポート 1 (入力)	青	ポート 4 (入力)
茶	ポート 1 (出力)	茶	ポート 4 (出力)
灰	ポート 2 (入力)	灰	ポート 5 (入力)
白	ポート 2 (出力)	白	ポート 5 (出力)
黄	ポート 3 (出力)	黄	無接続

【注意】: 本機は, [設定メニュー] 内の [ポート入力] の選択画面 (右図参照) に表示される, [GPS AUTO], [C-COM], [魚探], [レーダー], および [MOBILARM] の機能は対応していません. [NMEA-0183] ([AIS 38400] を含む) の入力ポートとしてのみお使いいただけます. 他の設定に変更した場合は, 正常に動作しなくなります.



各部の名称と働き



【ZOOM IN】/【ZOOM OUT】ボタン

- ・ ボタンを押すたびに、海図の縮尺が、カーソル（ $\cdot\cdot\cdot$ ）の位置を中心に拡大（【ZOOM IN】）/縮小（【ZOOM OUT】）します。
- ・ 【ZOOM IN】ボタンを押し続けると、海図の縮尺が連続的に拡大し、【ZOOM OUT】ボタンを押し続けると、海図の縮尺が連続的に縮小します。

シャトルポイントノブ

- ・ カーソルを8方向に移動させることができます。
- ・ メニュー機能呼び出したときには、項目の選択を行うことができます。

【ENT】ボタン

各種機能の呼び出しや決定に使用します。

【CLR】ボタン

メニュー画面など、各種の表示画面を閉じる場合に使用します。

【MENU】ボタン

メニュー画面を呼び出します。

【GOTO】ボタン

このボタンを押すと、あらかじめ登録されている、目的に向かってナビゲーションを行うことができます。

各部の名称と働き

【MARK】ボタン

このボタンを押すと、現在カーソル()が示している場所に印(マーク)を付けることができます。あとで、この印(マーク)に向かってナビゲーションを行うことができます。

【ROUTE】ボタン

このボタンを押すと、現在カーソルが示している場所に中間地点(ウェイポイント)を付けることができます。

さらに、カーソルを移動させてから再びこのボタンを押すと、新たな中間地点(ウェイポイント)が付くとともに、その前に付けた中間地点(ウェイポイント)との間を直線で結びます。

【INFO】ボタン

このボタンを押すと、あらかじめCカードに登録されている、港や障害物などの情報を呼び出すことができます。

【MOB】ボタン

このボタンを押すと、現在位置(船のいる位置)に印(マーク)が付き、直ちに、この印(マーク)に向かってナビゲーションを始めます。人が船から転落したときなど、救助する際に大変有効です。

【注意】:この機能は、不慮の事故が発生した際に、救助活動を補助するための機能です。この機能を使用しても、必ず救助できるとは限りません。この機能を使用して生じたトラブルについては、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

ソフトキーボタン

操作や表示画面により機能が変わるソフトキーボタンです。

【PWR】ボタン

- このボタンを押し続けると、電源を“オン・オフ”にすることができます。
- 電源が“オン”のときにこのボタンを押すと、照明/コントラスト調整画面が現れ、シャトルポイントノブの左右の操作で照明ランプの明るさ調整、シャトルポイントノブの上下の操作でディスプレイのコントラスト調整が行えます。
調整終了後、【ENT】ボタンを押すと、照明/コントラスト調整画面が閉じます。

基本操作

基本操作

1. “ピツ”というブザー音が鳴るまで、【PWR】ボタンを押し続けます。
2. 『オープニング画面』（約5秒間）のあとに『警告画面』が現れます（約10秒間）。

3. 初めて本機の電源を“オン”にしたときは、右図に示すような『GPSステータス画面』が現れ、GPS衛星の捕捉を行います。



4. GPS衛星を捕捉すると、自動的に『海図画面』に切り替わります。

5. 海図画面上に、自局の現在位置（船舶位置）を“⊕”アイコンで、カーソル位置を“⊙”アイコンで示します。

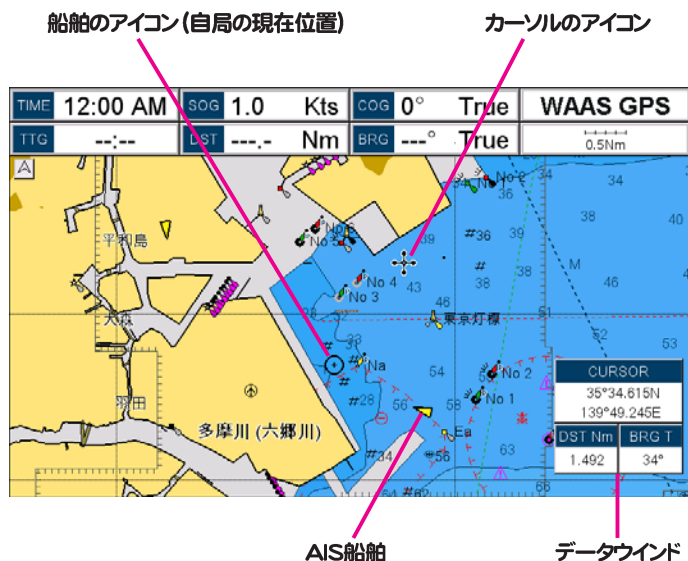
また、カーソル位置の“緯度/経度”と、現在位置からカーソル位置までの“距離”と“方向”を『データウインド』に表示します。

5. 【CLR】ボタンを押すと、ワンタッチでカーソルの位置を自局の現在位置（船舶位置）に移動させることができます。

6. GX2150を接続した場合には、AIS機能を搭載した船舶を“▲”アイコンで表示します。また、カーソルを“▲”アイコンに移動させると、右図に示すような表示が現れ、その船舶の詳細を表示します。

AIS	
NAME	
SIMULS	
MMSI	CALL SIGN
100000000	SIMULS
SOG Kts	COG T
3.3	50°
CPA Nm	TCPA
4.98	-----

7. 本機の電源を“オフ”にする場合は、画面の表示が消えるまで【PWR】ボタンを押し続けます。



DSC 受信

- 無線機が位置情報を含むDSC信号を受信すると、ディスプレイに『位置情報要求画面』が現れます。

【アドバイス】：『リスト画面』など、本機が『チャート画面』以外の画面を表示していても、位置情報を含むDSC信号を受信するとディスプレイに『位置情報要求画面』が現れます。

- シヤトルポイントノブを操作して[チャート表示]を選び、【ENT】ボタンを押します。『チャート画面』以外を表示していたときには、『チャート画面』に切り替わります。

【アドバイス】：『遭難通報』を発した船舶は、海図画面上に“回”のアイコンで、「位置情報送信」等のDSC信号を発した船舶は、海図画面上に“回”のアイコンで表示されます。

- シヤトルポイントノブを操作して
 - 受信した船舶の場所へ向かいたいときには、[船舶に向かいます。]を選んで【ENT】ボタンを押します。
 - 位置情報を含むDSC信号を受信する以前に使用（表示）していた画面に戻りたいときに、[前のページ]を選んで【ENT】ボタンを押します。
 - 現在の表示を保ちたいときには、[表示保持]を選んで【ENT】ボタンを押します。
- [船舶に向かいます。]を選んだときには、ナビゲーションを開始します（ナビゲーションの方法は、27ページを参照してください）。



【アドバイス】：[設定メニュー]内の[DSCポーリング]の設定を組み合わせることにより、下表に示すように、位置情報を含むDSC信号（『遭難通報』を除く）を受信したときの動作を3通りの中から選ぶことができます。

『遭難通報』を受信したときは、常に『位置情報要求画面』が現れるとともに、その局の最新の船舶位置を海図画面上に表示します。



		[自動位置情報]	
		[手動]	[自動]
[自動更新]	オン	無線機が位置情報を含むDSC信号を受信すると、『位置情報要求画面』が現れるとともに、その局の最新の船舶位置を海図画面上に表示します。	無線機が位置情報を含むDSC信号を受信すると、『位置情報要求画面』が現れるとともに、その局の船舶位置を航跡(軌跡)で海図画面上に表示します。([自動更新]の[オン/オフ]設定に関わらず、表示方法はこの1種類のみです。)
	オフ	無線機が位置情報を含むDSC信号を受信すると、その局の最新の船舶位置を海図画面上に表示するだけで、『位置情報要求画面』は現れません。	

基本操作

軌跡 (航跡)

船が移動すると、自動的に海図上に軌跡が作成・記憶されます。



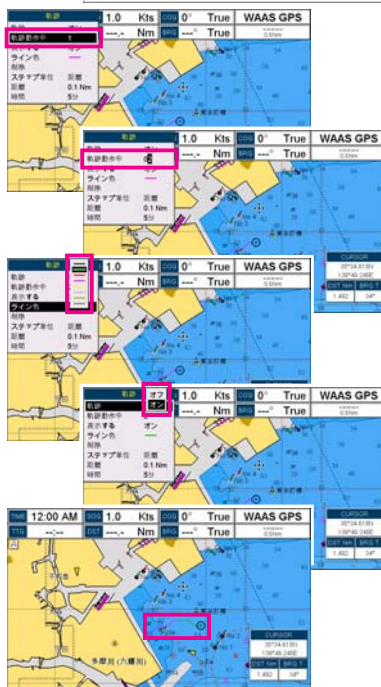
新たな軌跡を作成・記憶するには、以下の操作を行います。

1. 【MENU】ボタンを押して【メインメニュー】を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作して【ポイント】を選び、【ENT】ボタンを押します。
3. 『ユーザーポイント画面』が現れます。シャトルポイントノブを操作して【軌跡】を選び、【ENT】ボタンを押します。
4. シャトルポイントノブを上下に操作して【軌跡動作中】を選び、【ENT】ボタンを押します。
5. シャトルポイントノブを操作して、新たな軌跡番号を設定します。



- シャトルポイントノブの上下操作で数字を選択し、左右操作で桁を選択します。
6. 希望により、【ライン色】で軌跡の表示色を変更することもできます。
 7. シャトルポイントノブを操作して【軌跡】を選び、【ENT】ボタンを押します。
 8. シャトルポイントノブを操作して【オン】を選び、【ENT】ボタンを押します。
 9. 【CLR】ボタンを押すと【メインメニュー】画面が閉じ、新たな軌跡が作成・記憶されます。

【アドバイス】：作成・記憶することができる軌跡は、最大20本です。

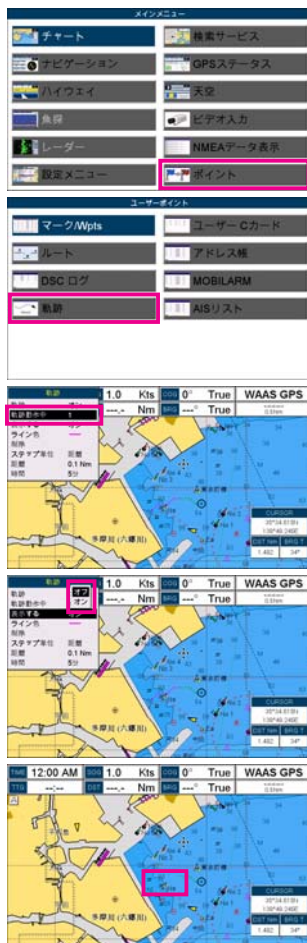


軌跡 (航跡)

軌跡の消去 (海図画面上から一時的に消す)

1. **【MENU】** ボタンを押して **【メインメニュー】** を呼び出します。
2. **シヤトルポイントノブ** を操作して **【ポイント】** を選び、**【ENT】** ボタンを押します。
3. 『ユーザーポイント画面』が現れます。**シヤトルポイントノブ** を操作して **【軌跡】** を選び、**【ENT】** ボタンを押します。
4. **シヤトルポイントノブ** を上下に操作して **【軌跡動作中】** を選び、**【ENT】** ボタンを押します。
5. **シヤトルポイントノブ** を操作して、消去したい軌跡の番号を設定します。
シヤトルポイントノブ の上下操作で数字を選択し、左右操作で桁を選択します。
6. **シヤトルポイントノブ** を操作して **【表示する】** を選び、**【ENT】** ボタンを押します。
7. **シヤトルポイントノブ** を操作して **【オフ】** を選び、**【ENT】** ボタンを押します。
8. **【CLR】** ボタンを押すと **【メインメニュー】** 画面が閉じ、指定した軌跡が海図画面上から消えます。

【アドバイス】: 指定した軌跡は海図画面上から消えただけで、本機内にデータとして残っています。再び表示させたい場合は上記の操作を繰り返し、操作7. で【オン】を選択してください。



基本操作

軌跡 (航跡)

軌跡の削除 (データを消す)

1. 【MENU】ボタンを押して【メインメニュー】を呼び出します。
2. ショトルポイントノブを操作して【ポイント】を選び、【ENT】ボタンを押します。
3. 『ユーザーポイント画面』が現れます。ショトルポイントノブを操作して【軌跡】を選び、【ENT】ボタンを押します。
4. ショトルポイントノブを上下に操作して【軌跡動作中】を選び、【ENT】ボタンを押します。
5. ショトルポイントノブを操作して、消去したい軌跡の番号を設定します。
ショトルポイントノブの上下操作で数字を選択し、左右操作で桁を選択します。
6. ショトルポイントノブを操作して【削除】を選び、【ENT】ボタンを押します。
7. 警告表示が現れますので、【ENT】ボタンを押します。
8. 【CLR】ボタンを押すと【メインメニュー】画面が閉じ、指定した軌跡が海図画面上から消えるとともに、本機のメモリーからも削除されます。

【注意】：一度削除したデータ（軌跡）は再表示することはできませんので、削除する際は十分注意してから操作を行ってください。



MENU 操作

1. 【MENU】ボタンを押すと、【メインメニュー】が呼び出されます。
2. ショールポイントノブを操作して希望の項目を選び、【ENT】ボタンを押すと、その項目が呼び出されます。



【注意】： 本機では、【魚探】、【レーダー】、【ビデオ入力】の項目は動作しません。

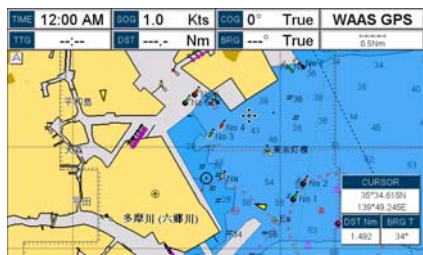
基本操作

MENU 操作

チャート

海図画面を「1画面」または「2画面」に選択することができます。

シヤトルポイントノブを操作して【メインメニュー】上の【チャート】を選択し、【ENT】ボタンを押すと、右図に示すような画面が現れますので、シヤトルポイントノブを操作して希望の画面(【1画面】または【2画面】)を選び、再度【ENT】ボタンを押します。



「1画面」表示



「2画面」表示

「2画面」を選択した場合、操作画面の切り替えは、ソフトキーボタン () のいずれか一つを押した後右端のボタン (フォーカス) を押すと、『フォーカス』画面が現れますので、シヤトルポイントノブを上下に操作して、操作したいほうの画面を選択した後に【ENT】ボタンを押します。赤枠で囲まれた画面が操作できる画面です。

なお、「2画面」を選択した場合は、2つの画面の縮尺を個別に変更することができます。



MENU 操作

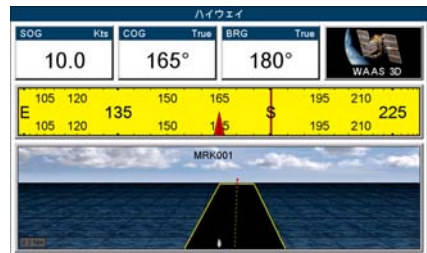
ナビゲーション

シフトポイントノブを操作して[メインメニュー]上の[ナビゲーション]を選択し、【ENT】ボタンを押すと、右図に示すような『ナビ画面』が現れます。



ハイウェイ

シフトポイントノブを操作して[メインメニュー]上の[ハイウェイ]を選択し、【ENT】ボタンを押すと、右図に示すような『ハイウェイ画面』が現れます。



検索サービス

シフトポイントノブを操作して[メインメニュー]上の[検索サービス]を選択し、【ENT】ボタンを押すと、右図に示すような『サービス検索』ウインドウが現れます。

『サービス検索』ウインドウでは、現在位置**各種の情報を見ることができます。



基本操作

MENU 操作

GPS ステータス

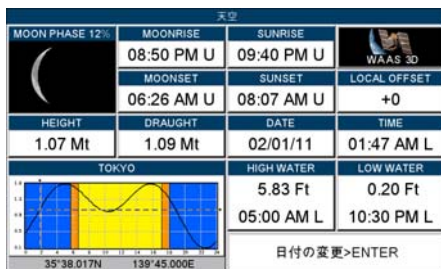
シヤトルポイントノブを操作して[メインメニュー]上の[GPSステータス]を選択し、【ENT】ボタンを押すと、右図に示すような『GPSステータス画面』が現れます。



天空

シヤトルポイントノブを操作して[メインメニュー]上の[天空]を選択し、【ENT】ボタンを押すと、右図に示すような『天空画面』が現れます。

『天空画面』では、現在位置に一番近い港での“満潮・干潮時刻”や“現在の潮位”，“月齢”などの情報を得ることができます。また、シヤトルポイントノブを左右に操作すると、時刻を変更することができますので、入港予定時刻等の特定時刻の潮位を知ることができます。



NMEA データ表示

シヤトルポイントノブを操作して[メインメニュー]上の[NMEAデータ表示]を選択し、【ENT】ボタンを押すと、右図に示すような画面が現れます。シヤトルポイントノブを操作して希望する項目を選び、再度【ENT】ボタンを押すと、その項目のデータが表示されます。

【注意】：本機では、[表示]、[深度グラフ]、[水温グラフ]および[風速グラフ]は表示できません。



MENU 操作

ポイント

シリアルポイントノブを操作して[メインメニュー]上の[ポイント]を選択し、【ENT】ボタンを押すと、右図に示すような表示が現れ、各項目のデータの確認・編集を行うことができます。



基本操作

ソフトキーボタン

本体下部にある6つのソフトキーボタン（）で、前項で説明したMENU操作の主要な5つの画面をワンタッチで呼び出すことができます。

ソフトキーボタンのいずれか一つを押すと、ボタンの上側（ディスプレイ画面の下部）に、各ボタンで呼び出すことができる画面の名前が約5秒間点灯しますので、呼び出したい画面に対応するボタンを押します。

【注意】：左端のビデオボタンは、本機では動作しません。



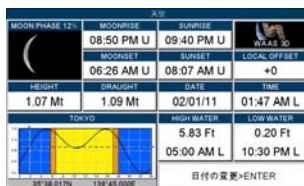
ソフトキーボタン



ナビ画面



ハイウェイ画面



天空画面



チャート画面

マートクポイント					
ITEM	NAME	TYPE	LATITUDE	LONGITUDE	MOUSE
1	100000	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH
2	100001	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH
3	100002	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH
4	100003	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH
5	100004	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH
6	100005	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH
7	100006	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH
8	100007	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH
9	100008	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH
10	100009	MARK	35°33.347N	139°48.215E	SWITCH

リスト画面

メモ

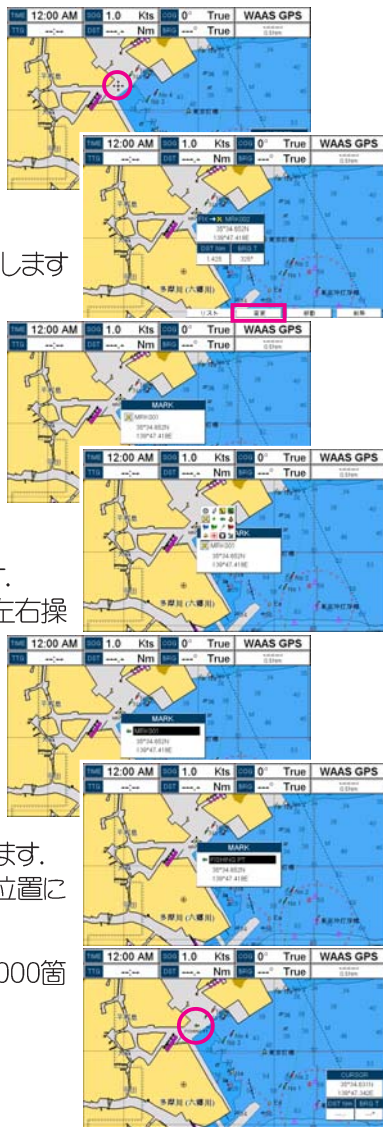
マークの使いかた

『魚が良く釣れた場所』や『浅瀬』など、気になる場所にマーク(印)を付けることができます。さらに、このマーク(印)に向かってナビゲーションを行うこともできます(ナビゲーションの方法は、27ページを参照してください)。

マークの登録(マークを付ける)

1. ショトルポイントノブを操作して、マーク(印)を付けたい場所にカーソル“”を移動させます。
2. **【MARK】**ボタンを押すと海図上にマーク(印)が付き、マークした場所の緯度/経度と現在位置からの距離と方角が表示されます。
3. マーク(印)のアイコンや名称を変更したいときは、ソフトキーボタン()の**【変更】**を押します。変更しなくてよい場合は、**【CLR】**ボタンを2回押します(カーソルが現在位置に戻ります)。
4. **【ENT】**ボタンを押すとアイコンの一覧表が表示されますので、ショトルポイントノブを操作して好みのアイコンを選択し、再度**【ENT】**ボタンを押します。
5. マーク(印)の名称を変更するときは、ショトルポイントノブを右方向に倒して名前の表示を白抜き文字に変え、**【ENT】**ボタンを押します。
6. ショトルポイントノブを操作して、名前を変更します。ショトルポイントノブの上下操作で文字を選択し、左右操作で桁を選択します。
なお、利用できる文字は英数字と“#”，“&”，“ ”で、最大10桁までです。
7. 名前の変更が終わりましたら、**【ENT】**ボタンを押して変更を確定します。
8. **【CLR】**ボタンを押すと詳細表示が消え、海図上のマーク(印)が変更したアイコンと名称に変わります。
9. もう一度**【CLR】**ボタンを押すと、カーソルが現在位置に戻ります。

【アドバイス】：登録することができるマークは、最大3,000箇所です(ただし、ウェイポイントと合わせた数)。



マークの使いかた

マークの削除(マークを消す)

1. ショトルポイントノブを操作して、カーソル“ $\div$ ”を削除したいマーク(印)に移動させます。
2. マークの詳細が表示されます。
3. ソフトキーボタン ()の(削除)を押します。
4. 警告表示が現れますので、【ENT】ボタンを押します。
5. 海図上から選択したマーク(印)が削除されます。

【注意】：一度削除したデータ(マーク)は再表示することはできませんので、削除する際は十分注意してから操作を行ってください。



ルート (ROUTE) の使いかた

海図上に、自由にルート(航路)を作成することができます。また、作成したルートに向かってナビゲーションを行うこともできます(ナビゲーションの方法は、26ページを参照してください)。

ルートの作成

1. ルート(航路)をスタートさせる位置にカーソル()を移動します。
2. **【ROUTE】** ボタンを押します。
カーソル位置の緯度/経度と、現在位置からの距離と方向が表示されます。
3. カーソルを次のポイント(位置)まで移動させ、再び **【ROUTE】** ボタンを押します。
カーソル位置の緯度/経度等の詳細データが表示されると共に、前ポイント(位置)と直線結ばれます。
4. 操作3. を繰り返し、ルートを作成します。
5. ソフトキーボタン () の(オリンピック)を押せば、次のポイントがスタート地点となり、結果として、周回ルートを作成することができます。
5. 作成したルートは、電源を切っても保存されます。



ルート (ROUTE) の使いかた

新しくルートを作成するには....

1. 【MENU】ボタンを押して【メインメニュー】を呼び出します。
2. ショトルポイントノブを操作して【ポイント】を選び、【ENT】ボタンを押します。
3. 『ユーザーポイント画面』が現れますので、ショトルポイントノブを操作して【ルート】を選び、【ENT】ボタンを押します。
4. ショトルポイントノブを上下に操作して【選択】を選び、【ENT】ボタンを押して【ルート一覧表】を呼び出します。
5. ショトルポイントノブを上下に操作して未登録のルート(表示が“——”のルート)を選択し、【ENT】ボタンを押します。
6. 【カラー】の選択項目で、海図上に表示される各ポイント間を結ぶ線の色を変更することもできます。
7. 【CLR】ボタンを押して、【メインメニュー】画面を閉じます。

以上で新たなルートを作成することが可能になりました。上記の“ルートの作成”を行うことで、新たなルートを作成することができます。

【アドバイス】：作成することができるルートは、最大50本です。



ルート (ROUTE) の使いかた

ルートの選択

作成したルートは、下記の方法で表示することができます。

1. 【MENU】ボタンを押して【メインメニュー】を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作して【ポイント】を選び、【ENT】ボタンを押します。
3. 『ユーザーポイント画面』が現れますので、シャトルポイントノブを操作して【ルート】を選び、【ENT】ボタンを押します。
4. シャトルポイントノブを上下に操作して【選択】を選び、【ENT】ボタンを押して【ルート一覧表】を呼び出します。
5. シャトルポイントノブを上下に操作して表示させたいルートを選択し、【ENT】ボタンを押します。
6. 【CLR】ボタンを押すと【メインメニュー】画面を閉じ、選択したルートが画面上に表示されます。



ルート (ROUTE) の使いかた

ルートの削除

作成したルートは、下記の 2 通りの方法で削除することができます。

現在表示されているルートを削除する

1. 現在表示しているルートの線上、あるいは、いずれか一つのポイントにカーソル () を移動します。
2. ソフトキーボタン () の (RTE削除) を押します。
3. 警告表示が現れますので、【ENT】ボタンを押します。
4. 海図上からルート表示が消えます (『ルート一覧表』からも削除されます)。

【注意】：一度削除したデータ (ルート) は再表示することはできませんので、削除する際は十分注意してから操作を行ってください。

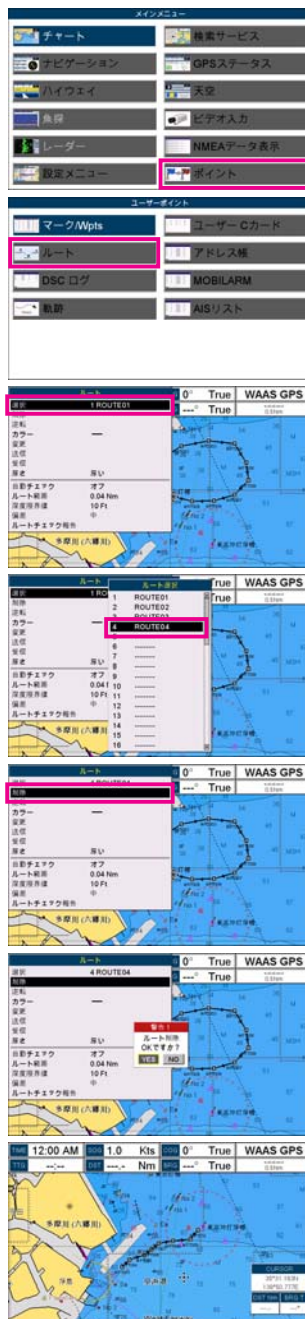


ルート (ROUTE) の使いかた

『ルート一覧表』から削除する

1. 【MENU】ボタンを押して【メインメニュー】を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作して【ポイント】を選び、【ENT】ボタンを押します。
3. 『ユーザーポイント画面』が現れますので、シャトルポイントノブを操作して【ルート】を選び、【ENT】ボタンを押します。
4. シャトルポイントノブを上下に操作して【選択】を選び、【ENT】ボタンを押して【ルート一覧表】を呼び出します。
5. シャトルポイントノブを上下に操作して【削除】を選び、【ENT】ボタンを押します。
6. 警告表示が現れますので、【ENT】ボタンを押します。
7. 【CLR】ボタンを押すと【メインメニュー】画面が閉じます。

【注意】：一度削除したデータ（ルート）は再表示することはできませんので、削除する際は十分注意してから操作を行ってください。



ナビゲーションのしかた

カーソル“

カーソルの位置に向かってナビゲーションを行う

1. **【GOTO】** ボタンを押します。
『GOTO画面』が現れますので, **シヤトルポイントノブ**を操作して **【カーソル】** を選択し, **【ENT】** ボタンを押します。
2. カーソル“) のいずれか一つを押して各ソフトキーボタンのリストを呼び出し, (ナビ) または (ハイウェイ) のソフトキーボタンを押せば, 画面の指示に従って操船するだけで自動的に目的地に到着することができます。
【注意】: 本機がナビゲーションするのは, 方角と距離だけです。他の船舶の位置関係や障害物の有無など, 回りの状況に十分注意して操船してください。
4. 船が目的地(カーソル“

The figure displays the navigation interface of the CP300i device. It is divided into several sections:

 - Top Map Section:** Shows a map with a yellow landmass and blue water. A red line indicates the route. A cursor is positioned on the map. The top status bar shows: 12:00 AM, 1.0 Kts, 0° True, WAAS GPS.
 - Middle Status Section:** Displays navigation data in a table format:

LATITUDE		LONGITUDE	
35°33.347N		139°48.215E	
TIME	12:00 AM	COG	10.0
COG	0°	BRG	315°
YTD	00:59	DST	9.939
 - Compass Section:** A circular compass rose showing North (N), South (S), East (E), and West (W). A yellow arrow points towards the destination.
 - Bottom Section:** Labeled 'ハイウェイ' (Highway), it shows a perspective view of the route. The top bar shows: COG 10.0, BRG 0°, 315°. Below it, a scale bar shows distances from 300 to 600 meters. The bottom part shows a perspective view of the route on a road.

ナビゲーションのしかた

ルート (ROUTE) に向かってナビゲーションを行う

1. 【GOTO】 ボタンを押します。

『GOTO画面』が現れますので、シヤトルポイントノブを操作して【ルート】を選択し、【ENT】 ボタンを押します。

2. 『ルート選択画面』が現れますので、シヤトルポイントノブを操作してナビゲーションしたいルートを選択します。

3. 【ENT】 ボタンを押すと、選択したルートの「出発点」に向かってナビゲーションをはじめます。

4. 本体下部にあるソフトキーボタン () のいずれか一つを押して各ソフトキーボタンのリストを呼び出し、(ナビ)または(ハイウェイ)のソフトキーボタンを押せば、画面の指示に従って操船するだけで自動的に目的地に到着することができます。

【注意】: 本機がナビゲーションするのは、方角と距離だけです。他の船舶の位置関係や障害物の有無など、回りの状況に十分注意して操船してください。

5. 船が目的地(選択したルートの「出発点」)に到着すると、『到着アラーム画面』が現れるとともに警告音を発します。

6. 【ENT】 ボタンまたは【CLR】 ボタンを押すと、『到着アラーム画面』と警告音が消えます。

7. ナビゲーションを終了させるには、【GOTO】 ボタンを押して警告画面を表示させ、シヤトルポイントノブを操作して【ストップ】を選び、【ENT】 ボタンを押します。



ナビゲーションのしかた

マーク(印)に向かってナビゲーションを行う

1. **【GOTO】** ボタンを押します。
『GOTO画面』が現れますので、シャトルポイントノブを操作して**【マーク】**を選択し、**【ENT】** ボタンを押します。
2. 『マーク/ウェイポイント選択画面』が現れますので、シャトルポイントノブを操作してナビゲーションしたい場所(マーク:印)を選択し**【GOTO】** ボタンを押します。
選択した(マーク:印)のシンボルに「O」が付きます。
3. **【CLR】** ボタンを押すと、選択した「マーク:印」に向かってナビゲーションをはじめます。
4. 本体下部にあるソフトキーボタン () のいずれか一つを押して各ソフトキーボタンのリストを呼び出し、(ナビ)または(ハイウェイ)のソフトキーボタンを押せば、画面の指示に従って操船するだけで自動的に目的地に到着することができます。
【注意】: 本機がナビゲーションするのは、方角と距離だけです。他の船舶の位置関係や障害物の有無など、回りの状況に十分注意して操船してください。
5. 船が目的地(選択した「マーク:印」)に到着すると、『到着アラーム画面』が現れるとともに警告音を発します。
6. **【ENT】** ボタンまたは**【CLR】** ボタンを押すと、『到着アラーム画面』と警告音が消えます。
7. ナビゲーションを終了させるには、**【GOTO】** ボタンを押して警告画面を表示させ、シャトルポイントノブを操作して**【ストップ】**を選び、**【ENT】** ボタンを押します。



画面のカスタマイズ

【設定メニュー】の中にある、【MAX機能】の各項目の設定値を変更することにより、画面表示を各ユーザーの操作スタイルに合わせてカスタマイズすることができます。

ズームタイプ

【ZOOM IN】/【ZOOM OUT】ボタンを押し続けて海図の拡大/縮小を行う際、【ズームタイプ】が【標準】のときは、拡大/縮小サイズに合わせて海図表示データが自動的に変わりますが、【Flexi-Zoom】に変更すると、海図の拡大/縮小操作を始めたときの海図表示データを保持します。

1. 【MENU】ボタンを押して、【メインメニュー】を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作してカーソルを【設定メニュー】に移動し、【ENT】ボタンを押します。
3. シャトルポイントノブを操作してカーソルを【MAX機能】に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して【MAX機能】の詳細画面を呼び出します。
4. シャトルポイントノブを操作してカーソルを【ズームタイプ】に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して【ズームタイプ】の詳細画面を呼び出します。
5. シャトルポイントノブを操作して希望するタイプ（【標準】または【Flexi-Zoom】）を選択します。
6. 【ENT】ボタンを押して設定を確定し、【CLR】ボタンを2回押して、【メインメニュー】画面を閉じます。



画面のカスタマイズ

アイコンサイズ

海図上に表示されるアイコンのサイズを、[標準] または [大] のどちらかを選択することができます。

1. 【MENU】ボタンを押して、[メインメニュー] を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作してカーソルを [設定メニュー] に移動し、【ENT】ボタンを押します。
3. シャトルポイントノブを操作してカーソルを [MAX機能] に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して [MAX機能] の詳細画面を呼び出します。
4. シャトルポイントノブを操作してカーソルを [アイコンサイズ] に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して [アイコンサイズ] の詳細画面を呼び出します。
5. シャトルポイントノブを操作して希望するサイズ ([標準] または [大]) を選択します。
6. 【ENT】ボタンを押して設定を確定し、【CLR】ボタンを2回押して、[メインメニュー] 画面を閉じます。



場所名の表示サイズ

海図上に表示される地名等の文字サイズを、[標準]、[中]、[大] のいずれかから選択することができます。

1. 【MENU】ボタンを押して、[メインメニュー] を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作してカーソルを [設定メニュー] に移動し、【ENT】ボタンを押します。
3. シャトルポイントノブを操作してカーソルを [MAX機能] に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して [MAX機能] の詳細画面を呼び出します。
4. シャトルポイントノブを操作してカーソルを [場所名の表示サイズ] に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して [場所名の表示サイズ] の詳細画面を呼び出します。
5. シャトルポイントノブを操作して希望するサイズ ([標準]、[大]、または [小]) を選択します。
6. 【ENT】ボタンを押して設定を確定し、【CLR】ボタンを2回押して、[メインメニュー] 画面を閉じます。

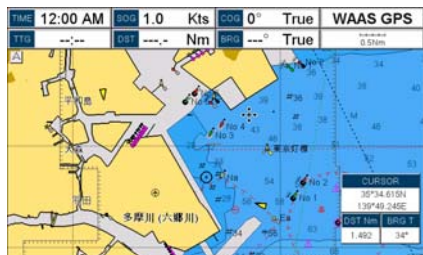


画面のカスタマイズ

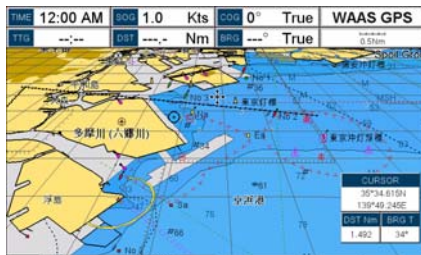
バードビュー

海図の表示を、真上から見た表示ではなく、高いところ見下ろしたような表示（鳥瞰図）に変更することができます。

1. 【MENU】ボタンを押して、【メインメニュー】を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作してカーソルを【設定メニュー】に移動し、【ENT】ボタンを押します。
3. シャトルポイントノブを操作してカーソルを【MAX機能】に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して【MAX機能】の詳細画面を呼び出します。
4. シャトルポイントノブを操作してカーソルを【バードビュー】に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して【バードビュー】の詳細画面を呼び出します。
5. シャトルポイントノブを操作して希望する表示方法（【オン】または【オフ】）を選択します。
6. 【ENT】ボタンを押して設定を確定し、【CLR】ボタンを2回押して、【メインメニュー】画面を閉じます。



ノーマルビュー



バードビュー

【注意】：ズームタイプが【Flexi-Zoom】の時は、バードビュー表示は行えません。また、バードビュー表示の時は、ズームタイプを【Flexi-Zoom】に設定することができません。

画面のカスタマイズ

航路標識の点滅

海図上の航路標識アイコンを、点滅表示に変更することができます。

1. **【MENU】**ボタンを押して、**【メインメニュー】**を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作してカーソルを**【設定メニュー】**に移動し、**【ENT】**ボタンを押します。
3. シャトルポイントノブを操作してカーソルを**【MAX機能】**に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して**【MAX機能】**の詳細画面を呼び出します。
4. シャトルポイントノブを操作してカーソルを**【航路標識の点滅】**に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して**【航路標識の点滅】**の詳細画面を呼び出します。
5. シャトルポイントノブを操作して希望する表示方法（**【オン】**または**【オフ】**）を選択します。
6. **【ENT】**ボタンを押して設定を確定し、**【CLR】**ボタンを2回押して、**【メインメニュー】**画面を閉じます。



画面のカスタマイズ

安全ステータスバーの表示

海図の上部に安全ステータスバーまたは安全ステータスアイコンを、表示させることができます。

1. 【MENU】ボタンを押して、【メインメニュー】を呼び出します。
2. ショトルポイントノブを操作してカーソルを【設定メニュー】に移動し、【ENT】ボタンを押します。
3. ショトルポイントノブを操作してカーソルを【MAX機能】に移動し、ショトルポイントノブを右方向に倒して【MAX機能】の詳細画面を呼び出します。
4. ショトルポイントノブを操作してカーソルを【安全ステータスバー】に移動し、ショトルポイントノブを右方向に倒して【安全ステータスバー】の詳細画面を呼び出します。
5. ショトルポイントノブを操作して希望する表示方法（【オフ】，【オン】，または【アイコン】）を選択します。
6. 【ENT】ボタンを押して設定を確定し、【CLR】ボタンを2回押して、【メインメニュー】画面を閉じます。



画面のカスタマイズ

- a. [安全ステータスバー] の設定を [オン] にすると、ディスプレイの上部に安全ステータスバーが現れます。

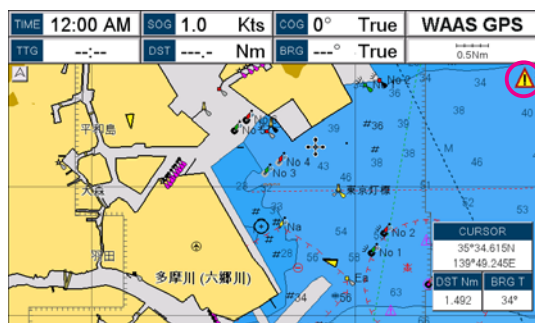


- ① 表示サイズに最適な海図データが選択されているときは [NORMAL] の表示が点灯します。

表示サイズが海図データより小さいときは [UZOOM] の表示が点灯します。さらに、表示サイズが海図データより2ステップ以上小さいときは、背景が赤色に変わります。表示サイズが海図データより大きいときは [OZOOM] の表示が点灯します。さらに、表示サイズが海図データより2ステップ以上大きいときは、背景が赤色に変わります。

- ② 表示サイズに最適な海図データがある場合は、背景が赤色に変わります。
 ③ 警告設定のいずれか一つでも [オフ] になっている場合は、背景が赤色に変わります。
 ④ オーバーラップポイントを通過すると、背景が赤色に変わります。
 ⑤ 浅瀬や岩礁などの危険水域に近づくと、背景が赤色に変わります。
 ⑥ 危険水域や進入を制限しているような制限水域に近づくと、背景が赤色に変わります。

- b. [安全ステータスバー] の設定を [アイコン] にすると、上記 ①～⑥のステータス条件が、いずれか一つでも背景が赤色に変わる条件になると、海図の右上に(⚠)のアイコンが現れます。

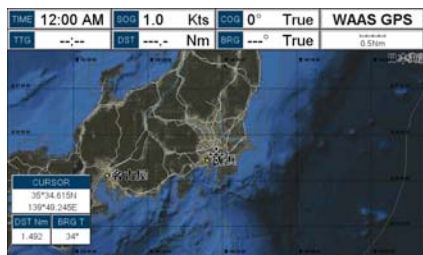


画面のカスタマイズ

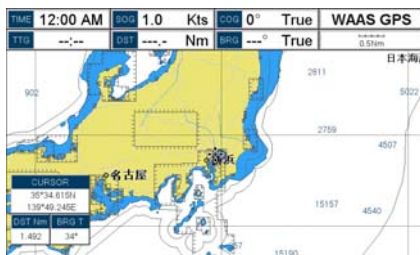
衛星写真

海図の縮尺を縮小（【ZOOM OUT】）した際に、縮尺が以上の大きさになったときに、海図表示を、衛星写真で表示させることができます。

1. 【MENU】ボタンを押して、[メインメニュー]を呼び出します。
2. シャトルポイントノブを操作してカーソルを[設定メニュー]に移動し、【ENT】ボタンを押します。
3. シャトルポイントノブを操作してカーソルを[MAX機能]に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して[MAX機能]の詳細画面を呼び出します。
4. シャトルポイントノブを操作してカーソルを[衛星写真]に移動し、シャトルポイントノブを右方向に倒して[衛星写真]の詳細画面を呼び出します。
5. シャトルポイントノブを操作して希望する表示方法（[オフ]または[オン]）を選択します。
6. 【ENT】ボタンを押して設定を確定し、【CLR】ボタンを2回押して、[メインメニュー]画面を閉じます。



衛星写真“オン”



衛星写真“オフ”

画面のカスタマイズ

チャート言語

海図に表示される文字を、日本語以外の表記に変更することができます。

1. 【MENU】ボタンを押して、【メインメニュー】を呼び出します。
2. ショトルポイントノブを操作してカーソルを【設定メニュー】に移動し、【ENT】ボタンを押します。
3. ショトルポイントノブを操作してカーソルを【MAX機能】に移動し、ショトルポイントノブを右方向に倒して【MAX機能】の詳細画面を呼び出します。
4. ショトルポイントノブを操作してカーソルを【チャート言語】に移動し、ショトルポイントノブを右方向に倒して【チャート言語】の詳細画面を呼び出します。
5. ショトルポイントノブを操作してカーソルを【言語】に移動し、ショトルポイントノブを右方向に倒して【言語】の一覧表を呼び出します。
6. ショトルポイントノブを操作して希望する言語を選択します。
7. 【ENT】ボタンを押して設定を確定し、【CLR】ボタンを2回押して、【メインメニュー】画面を閉じます。



【注意】：地名などの一部の表記は、切り変わらない場合があります。

設定メニュー (工場出荷時データ)

基本設定			お客様の設定
時間設定	時間ゾーン	+9:00 日本, 韓国	
	省電力動作	オフ	
	時間表示	12時間	
月日表示	年 - 月 - 日	年 - 月 - 日	
表示方向	北方向を上		
操作音	オン		
測定値の単位	距離	km	
	速度	Kmh	
	深度	Mt	
	高度	Mt	
	水温	°C	
航路表記の説明	国際		
表示カラー	ノーマル		
船舶アイコン	アイコン 1 (㊟)		
方向速度	チャート	中	
	メニュー	中	
距離計測	オフ		
表示設定	チャート ページ	None	
	ナビゲーション ページ	羅針図 (円)	
LANGUAGE	日本語		
情報自動表示	ポイント		
カーソルウィンドウ	オン		
カーソル位置	中心		
方向表示時間間隔	オフ		

設定メニュー (工場出荷時データ)

地図構成			お客様の設定
表示モード	ユーザー		
海上設定	場所の名称	オン	
	建物の名称	オフ	
	ナビ補助&照明	オン	
	注意海域	オフ	
	潮汐/潮流	オン	
	海底の種類	オン	
	ポート&サーピス	オン	
	航跡&ルート	オン	
深度設定	最小表示深度	0 Mt	
	最大表示深度	304 Mt	
陸地設定	高度	オフ	
	陸の海拔高度	オフ	
	道	オン	
	興味のあるポイント	オフ	
チャート設定	緯度/経度グリッド	オフ	
	チャート境界線	オフ	
	値・追加データ	オフ	
	チャート固定	オン	
	ミキシングレベル	オン	
水中構造物の設定	水中構造物の深さ制限	3 Mt	
	岩/岩礁	アイコン	
	障害物	アイコン	
	拡散構造物	アイコン	
	難破船	アイコン	

MAX機能			お客様の設定
ズームタイプ	標準		
アイコンサイズ	標準		
場所名の表示サイズ	標準		
パートビュー	オフ		
航海標識の点滅	オフ		
安全ステータスバー	オフ		
衛星写真	オフ		
海流予測			
チャート言語	言語	JAPANESE	
	モード	ローカル	

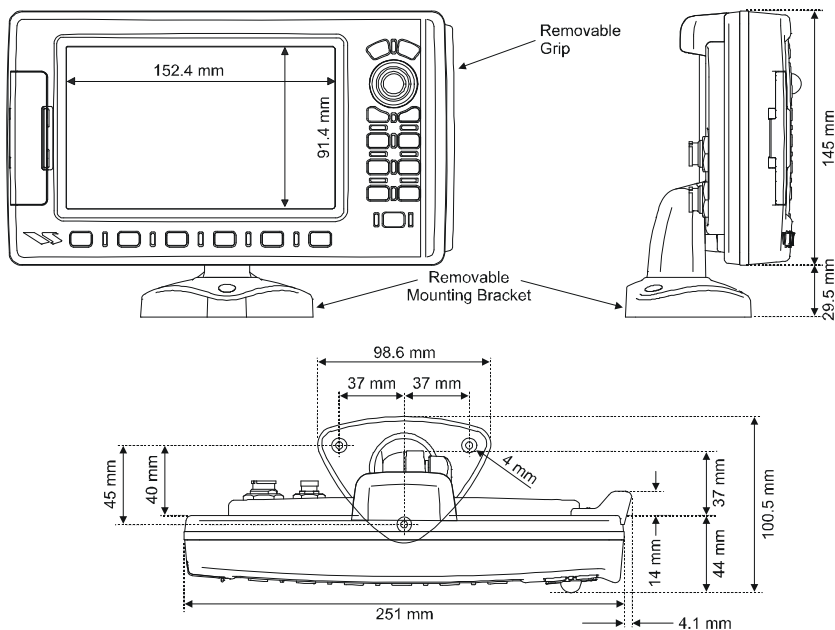
設定メニュー (工場出荷時データ)

アドバンス設定			お客様の設定
ナビゲート	座標表示設定	ddd° mm.mmm	
	地図情報	WGS1984	
	地図の回転角変化	30°	
	静的情報	1.6 Km/h	
コンパス	方向	TRUE	
	変化	自動	
	キャリブレーション		
入出力接続	ポート 1 入力	NMEA-0183 4800-N81-N	
	ポート 1 出力データ	GLL, XTE, RMC, GAA, DBT, DPT, MTW, VHW	
	ポート 2 入力	NMEA-0183 4800-N81-N	
	ポート 2 出力データ	GLL, XTE, RMC, GAA	
	ポート 3 入力	NMEA-0183 4800-N81-N	
	ポート 3 出力データ	GLL, APA, APB, BOD, XTE, RPC, GAA	
	ポート 4 入力	NMEA-0183 4800-N81-N	
	ポート 4 出力データ	GLL, XTE, RMC, GAA	
	ポート 5 入力	NMEA-0183 4800-N81-N	
	ポート 5 出力データ	GLL, XTE, RMC, GAA	
アラーム	SEND/REC RTE&MARKS	ポート 1	
	到着アラーム	0.10 Nm	
	XTEアラーム	0.10 Nm	
	深度アラーム	9 Ft	
	係留アラーム	オフ	
	アラーム出力	オン	
	接地アラーム	10 Ft	
	接地アラーム範囲	0.5 Nm	
シミュレーション	接地アラームレポート		
	シミュレーション	オフ	
	方向	0° T	
	速度	1.0Kts	
	日付	09/10/10	
	時間	12:00:00 AM	
	(15)	オフ	
DSCポーリング	デモ表示	オフ	
	自動位置情報	手動	
	自動更新	オフ	

AIS設定			お客様の設定
AIS表示	オン		
動作レンジ	5.0 Nm		
CPAアラーム	オフ		
CPA限界点	0.5 Nm		
TCPAアラーム	オフ		
TCPA限界点	10 min		

ビデオ入力	
日本仕様は、この機能はサポートしていません。	

電源電圧:	直流10 ~ 35 V (マイナス接地)
消費電流:	最大750 mA(12V時)
ディスプレイ:	7インチTFTカラーディスプレイ
ディスプレイ解像度:	800x480ドット
使用温度範囲:	0°C~+55°C
ユーザーポイント数:	最大3,000箇所(マークポイントとウェイポイントの合計)
ルート数:	最大50ルート(各ルート, 最大100ウェイポイント)
トラックポイント数:	最大10,000ポイント(最大20トラック)
NMEAインターフェース:	NMEA-0183(入出力共)
入力NMEAフォーマット:	GLL, VTG, BWC, WCV, APA, APB, HTG, BOD, XTE, RMA, RMB, RMC, GGA, HSC, DBT, DPT, MTW, VHW, WPL, RTE
出力NMEAフォーマット:	BWC, DSC, DSE, GGA, GLL, GSA, GSV, HDG, HDM, HDT, RMC, VHW, VTG, DPT, DBT, MTW, VWR, VWT, TLL, WPL, RTE
本体寸法:	下図参照
本体重量:	約920g





株式会社バーテックススタンダード
〒153-8644 東京都目黒区中目黒 4-8-8

©2011 株式会社バーテックススタンダード
無断転載・複写を禁ず

